

2026 年度 文学研究科美術史学専攻 中間発表会

2026.7.23

日時：8月6日（木）11：00～15：30

場所：8階804教室

博士前期課程（発表時間20分、質疑応答10分）

11：00～11：30

「鈴木春信筆《風流やつし七小町》考察

—浮世絵にみるやつしの文化と、江戸時代中期の小野小町像—」

11：30～12：00

「狩野山雪筆「長恨歌画卷」の表現について—古画・文芸等の学習を中心に—」

12：00～12：30

「戦時下における門井掬水の銃後の表象について」

昼休憩（1時間）

13：30～14：00

「船舶画家としての伊藤安次郎と大久保一郎について」

14：00～14：30

「人魚の身体表象—「人魚の嘆き」から「人魚姫」まで—」

14：30～15：00

「海洋美術展及び大日本海洋美術展における海軍大臣賞受賞作品の検討」

15：00～15：30

「ラウル・デュフィの絵画様式の着想源—色面と輪郭線の分離—」

当日は参加自由です。

大学院進学を考えている学生も、是非聞きに来てください。